

2021(令和3)年度

自己評価報告書

ヨコスカ調理製菓専門学校

## 学校の教育目標

- ◆調理に関する、基本知識・基本技術を修得させ、経済的独立の基盤を築かせると共に食を通じて社会貢献できる人材を育成する調理師養成機関と成る。
- ◆目標 校訓 「礼儀 努力 思いやり」を実践学習し社会の一員として求められる人材、貢献できる人材の輩出
- ◆育成する人材 調理師として必要な基本技術と知識を併せ持ち且つ、教えてもらえる環境を自ら作り出せる人間力を持った人材養成

## 2021(令和3)年度の重点課題

重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ◆目的意識の再確認と意識の向上

遅刻者、欠席者への早期対応の実施と個人面談の充実を重点。また、保護者との連絡を密に取り連携を図り、学校及び家庭での学習環境を整える。また、中途退学にならないための早期対策・対応。

### ◆対面授業の推進

コロナ下における対面授業の重要性を考え、感染症対策並びに蔓延防止対策を行い授業時間の確保を行う。安心して授業が行えるよう、三密の徹底、除菌、検温、空気清浄機、空調設備強化。

### ◆就職、進路視のための指導強化

#### コロナ禍での指導における指導強化

在学中に様々な経験体験更にはインターンシップを通して自己の可能性を見つけられ、労働環境などを比較できる就職先の選定能力を身につけさせる指導に重点をおく。幅広い選択肢を学生に提示し、本人の希望を最大限尊重した就職先を考えさせる指導を行う。

### ◆皆勤精勤の生活指導

生活習慣の乱れから始まる寝坊による遅刻や体調不良による欠席を減らすよう生活指導を強化する。体調不良に陥ることが無いように日頃より健康管理を徹底させる。

# 1 教育理念・目的・人物育成像

	評価項目	評価	現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策	特記事項
本校の独自性	教育方針（理念、目的、育成すべき人材像）が明確に定められ、伝えられている。	5	本人、保護者に対して入学前のオープンキャンパスやオリエンテーションにおいて教育方針、指導方法を詳しく説明している。	学校説明会の開催は予定通り実施。 教職員間での教育方針、教育理念を含めた指導内容を定期的に確認。講師会を年間2回開催し、学生の現状と、学生へのアンケートを基に指導内容を確認。しかし、指導内容で職員個人の見解による差が出てしまうことがある。小さなことでも学生に対して誤解が出ないようにHR等において確認する体制を強化している。	
	教育方針（理念、目的、育成すべき人材像）が教職員、学生、保護者に良く浸透している。	5	模範となる行動や心がけ、自己責任、校訓の実行を日ごろの授業においてもクラス担当や職員、講師が意識するように指導している。	新入社員においては入社前に研修を行い、教育方針に基づく仕事の進め方指導のあり方、社会人の姿勢などの具体的指導の研修を行っている。	
	教職員が教育方針を踏まえた学生指導をしている。	5	教職員の研修や朝夕のミーティングを通じて、教育方針の確認をしている。		
	本校が社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いた活動をしている。	5	現場サイドである企業には足を運び現状や現況の情報収集を行っている。インターンシップによる企業との連携、地域のイベント行事の参加、業界団体の会合への参加等により地域社会や企業のニーズを把握する努力を行っている。	変化する社会情勢にも対応ができる人材育成が必要で、社会的に求められる知識や意欲、組織として考えられるチーム力を育成する指導に努めている。	
	在校生、卒業生が学校に誇りを持っている。	4	企業訪問の祭には極力卒業生と会い、直に情報交換を行い、アフターケアを行っている。現況報告に卒業生が来た祭には現場での必要なことまた、学校授業で役立っている事などをリサーチし、指導に役立てている。本校の指導は厳しかったと聞くが、社会の厳しさに比べたらそうでもないまた、学んでよかったとの声をよく聞く。 教職員の研修や朝夕のミーティングを通じて、教育方針の確認をしている。	来校した卒業生に対して職場環境の聞き取りを行っている。 在職状況の確認やアフターケアーまた、企業の方針を確認し、進路指導に役立てている。	

評価：適切 5 / ほぼ適切 4 / やや不適切 3 / 不適切 2 / 該当なし 1

# 2 学校運営

	評価項目	評価	現状の認識、及び評価	今後の改善策	特記事項
運営方針	運営方針が策定されている。	5	「即戦力として社会貢献できる人材の育成」を教育理念とし、健全な学校運営を心がけている。 日々の打ち合わせの中でも「年度運営方針」に基づいた話をきちんと打ち出し明確にしている。		
	運営方針に沿った事業計画が策定されている。	5	学校法人としては、評議員会、理事会において明確な事業計画を策定し承認を得て遂行。 学生募集の目標値を策定し達成できるように全職員が対応している。また、退学率の軽減にも努力している。		
	運営組織や意思決定機能は、明確化されている。また有効に機能している	5	組織図の通り、意思決定機能は明確になっている。その中で、組織整備をはじめ各種の課題について討議・検討しており、さらに職員会議を通じて全職員へ通達している。		
	人事・給与に関する規定は整備されている。	4	就業規則の通り整備されている。		
	教務内容(学科・実習等)や財務(教材費・備品等)の組織整備など意思決定システムは整備されている。	4	教務や財務の内容の検討も行われている。不足備品等が発生した場合などの整備については、担当者より報告をあげさせいち早く対処している。		

	評価項目	評価	現状の認識、及び評価	今後の改善策	特記事項
教職員連携	教員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動がなされている。教職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している。	5	教員間の連携を取るシステムを構築している。業務連絡のため朝夕に打ち合わせを行い一日の業務、学生の様子等情報の共有を行いまた、仕事量のバランスを保つよう調整している。クラス担当からは毎日の朝礼、終礼等で各人、各クラス、各部署の報告がなされている。全職員が問題点を共有する ようにしている。		
情報公開	学校ホームページで可能な範囲の情報を公開している。	5	ホームページを活用して、学校情報の公開がしやすくかつ閲覧者が見やすくなった。定期的な情報提供を心がけている。		
	保護者と適切に連携している	5	保護者との三者面談を行い、相互理解に努めている。また、学校行事で保護者を招待できるものは学生を通して呼びかけている。		
	地域や地域住民との交流が来ている	4	感染拡大防止の観点から地域住民との係わりが殆ど出ていない。		
危機管理	危機管理、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。	5	学生が事故や問題行動を起こした時は、初期対応では近くにいる職員が対応し、すぐに管理職員に報告し状況判断して迅速な対応している。特に、怪我をした場合は迅速に病院へ搬送している。学警連への加盟と年間2回、総合避難訓練を実施している。		
	職員は、校舎内外の施設設備を定期的に点検し、結果を的確に処理・報告(整備・保全)している。	5	学校施設は、常に整備点検している。職員が巡回し点検を行っているが、機械設備や害虫駆除については専門の業者に定期検査し報告書が提出されている。また、異常が発見された時は、管理職員に報告し迅速に対応している。行政指導のあった外壁については対処済み。		
	事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。危機管理マニュアルを理解している。	5	防災マニュアルを作成しており、緊急時の指示系統も明示している。	管理職員が校外で勤務している時などに地震や火災が発生した時、各教員の行動の確認や体制にあわせ見直しをしている。	
情報保護	学校内の情報、学生の個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。	5	パソコンの個人情報のセキュリティーは、職員への周知を徹底しておりまた、外部とのアクセスができないシステムになっている。書類の情報管理は、所定の処理箱に保管し専門業者に委託して処分している。個人情報については、パスワードの毎年変更等の対策をとっている。書類については鍵のかかるキャビネットに保管している。	学生が個人情報としての認知の甘さによる問題が発生しないようにSNSの扱い方の指導と利用方法を徹底して指導する。	
	学生が学校情報の漏洩をしないような対策がとられている。	5	学校の内部事項が漏れることはないが、講師の肖像や学校内レシピ、誤解を招く内容等のインターネット公開はしないよう注意している。		

### 3 教育活動

	評価項目	評価	現状の認識、及び評価	・課題と今後の改善策	特記事項
教育課程 (カリキュラム)	学科等の授業計画を各教科別に策定している。	5	本校の教育目標に合致した教育が行われており、教員資格については、設置基準に定められたものを遵守している。各担当講師が年間授業予定表を作成し、それに沿った授業を行っている。	コロナ下においてインターンシップ実施クラスの縮小	
	実践的な職業訓練（企業連携によるインターンシップ、実技実習等）やキャリア教育が行われている。	5	インターンシップは独自プログラムで実施している。企業との連携を最重要視しておりまた、企業や団体からの意見を学生に最大限フィードバックし、モチベーションの向上に努めている。	コロナ下においてインターンシップ実施クラスの縮小をやむなく実施	
	授業評価の実施、評価体制がある。	5	単位取得、進級判定の基準は明確であり、判定会議では学生一人ひとりについて審議している。単位未修得になり得る可能性のある学生には、事前に本人への指導を徹底している。また、保護者にもきちんと通達している。		
	成績評価、単位認定、進級、卒業は明確である	5			
	関連分野における業界との連携においてすぐれた講師等を確保するなどのマネジメントが行われている。	5	各方面で活躍している外部講師を招聘している。調理・製菓実習分野だけでなく、学科の講師の確保にも尽力している。。		
教員研修資質向上	関連分野における先端的な知識、技能等を修得するための研修が行われている。	5	特別講習会として、各業界でのスペシャリストの講義は教職員も聴講できるように配慮している。	外部講師を活用しての技能研修等、満足な実施が出来なかった。	
	教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われている。	5	自己啓発を促し、研修として外部講習会に参加する場合は時間が許す限り許可している。	校内での職員研修会を実施している。	
	教員の能力開発のための研修が行われている。	5	教員研修においては、職員への研修の積極的参加を促し、教員の視野を広げるとともに、それを、本校学生への指導という形で還元させている。		
	教員の研修・研究した成果を他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。	4			

## 4 学修成果

評価項目		評価	現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策	特記事項
進路指導	就職率の向上が図られている	5	企業訪問を実施して、教育方針を理解してもらう努力をしている。進路選択において1年次より意識させ、仕事内容だけでなく職種の形態、勤務形態、福利厚生、企業理念なども考えさせた就職ができるよう本人の適性に合った職種や就職先を見出す指導をしている。	就職への不安もさることながら、飲食業界への不安を持つ学生への進路指導	
	各学生のニーズに合った就職先の選定を行なっている。	5	卒業年次では、クラス担任、就職指導担当が複数回の面接している。ネームバリューや条件よりも本人がやりがいをもって働ける職場環境を提案し就業できるように指導している。		
	就職先の形態や企業情報などの情報を掌握できるキャリア教育(学生指導)を行っている	5	日頃からの厳しい指導を乗り越えた学生達の離職率の低さが他校との比較においては企業から評価されている。在校生に対して卒業生OBやOGが現在の勤務内容の説明を行い就業への見解を深めている。就職の際に良く企業の特性や勤務体系等を見極めさせる。		
生活指導	出席状況不良の学生に早期に対応している	5	H・Rの段階で不在の者には家庭への連絡を行い、保護者への協力依頼をし、早期に状況を把握し保護者との確認を取る。生活態度が不良になりそうな者には、事前に生活態度を見直すよう伝え悪化しないよう指導している。退学率の減少に繋がっている	進路変更者 高等課程普通科 高校コース 1年生2名/2年生2名/3年生1名 専門課程 上級専科1名/専科1名	
	生活態度不良、内規違反の学生に早期に対応している。	5			
社会的ニーズ	卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握している	4	本校を来訪する卒業生は多い。その際に卒業生の情報を入れるようにしている。		
	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されている。	4	各企業で中堅の役割を担っている卒業生が来校した時は、学生の前で仕事内容ややりがいなどを話してもらっている。		
	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されている。	4			
学修成果の確認方法	実技試験・学科試験の合格基準を明確である。	5	実技試験、学科試験共に合格基準を明確にしている。複数の職員で試験結果を確認し、合否判定をしている。		
	実技試験・学科試験等の前年度との比較を行っている。	5	毎回、試験の合格者数、平均点、合格率等は算出している。		
	全国試験等での全国平均点数と本校の点数の比較を行っている。	4	技術考査を毎年受験している。年度により優劣がある。		

## 5 学生支援

評価項目		評価	現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策	特記事項
学生相談	学生が教職員に相談できる体制は整備されている。	4	クラス担当と三者面談、頻繁に二者面談を行っている。その他にも適宜、担任に相談できる体制を持っている。また、就職に関しては担当の職員がおり多方面での相談体制を取っている。		
	学生が教職員以外に相談できる(カウンセリング)体制が整備されている。	3	スクールカウンセラーは常駐していない。	学生生活や悩み事の相談体制を整備する。	
	学生に対する経済的な支援体制は整備されている。(優遇制度、奨学金制度等)	4	公共機関の奨学金制度を積極的に紹介している。給付型、貸与型の奨学金のような金銭的支援援助制度は無い。入学時の推薦入学者には教材費(約13万円)の免除等を行っている。		
	学生の生活環境(アルバイト紹介、不動産会社等の紹介)の支援は行われている。	5	就職活動と同様、アルバイトの紹介も学校を通じて紹介している。入学説明会時にアパート情報など学生に伝えている。学生寮は所持していない。		
健康管理	学生の健康管理を担う組織体制がある。	4	感染症対策防止やインフルエンザ、ノロウイルスの予防にも努め、必要と判断した学生や職員には早期に病院で受診するよう促している。職員においてはワクチンの余剰接種を推奨。年度初めに、健康診断を行っている。そこで再検査や要診断と判断された学生には、受診させている。インターンシップも行っているため細菌検査を実施している。		
	定期的に細菌検査、健康診断を行っている。	4			
課外活動	課外活動に対する支援体制は整備されている。	4	調理技術コンクールへの参加を全面的にバックアップしている。(参加者の練習及び申請料等の全てを学校負担としている)		
	学生が課外活動(コンクール参加等)に出場することを推奨している。	4	専門課程には運動部等の課外活動は有していないが、高等課程で行っている野球部やバスケットボール部への参加ができる。		
海外研修	海外研修について十分な教育体制を整備している。	4	9月には自由選択科目として海外研修としてアメリカ・ハワイにて「環太平洋料理」を学んでいる。現地学生に「和食文化」の講演を実施して国際交流を行っている。専門課程上級専科は修学旅行として実施。 また、専門課程生は自由選択科目としてフランス料理を学ぶ「ヨーロツパ研修」を11月に実施。高等課程は修学旅行として実施。	海外研修は全て中止した	
国内研修	国内研修について十分な教育体制を整備している。	4	ホテルでのテーブルマナーやホテルでの宿泊研修を実施。		
卒業生	卒業生への支援体制(再就職や相談)がある。	4	過年度生、進路変更者等、卒業生に対しては再就職の門戸を開いており、年間に数件紹介している。		
	卒業生が在校生に対し、アドバイスや体験談などを説明する体制が整っている。	4	店舗に伺い卒業生からのアドバイスや、料理長、社長クラスの卒業生を講師に迎えている。		

## 6 教育環境

評価項目		評価	現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策	特記事項
施設・設備	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている。	4	設備教室は設置基準の通り完備している。施設・設備整備は常時確認しており、最新の設備を導入できるよう努力している。完成症予防対策としてエアコンや空気清浄機の導入を進めた。	感染症防止対策として空調設備の整備、検温設備の導入、空気清浄機の導入	
	実習施設について十分な教育体制を整備している。	4			
	飲料水、補助食品の整備	4			
環境教育	ゴミの分別、省エネ、リサイクルなど環境への関心を高める教育をしている。	4	厳しい基準でゴミの分別をするよう指導している。リサイクルについては完全に分別するようにそれぞれのゴミ箱・リサイクル箱を配備している。生ごみについては廃棄するものと資源として処理するもの分けている。	省エネ、器具や道具の扱いなどの経済観念を養うことを学生よりも教職員へ意識させて・同様に美化・清掃も教職員へ意識させている。	
	校内清掃・校内美化に取り組ませている。環境設備を大切にすることを育成している。	4			

## 7 学生の受入れ募集

評価項目		評価	現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策	特記事項
募集活動	学生募集活動は、適正に行われている。	5	事前のオープンキャンパス等で資格取得及び本校の特性を十分に説明し、意思決定させて入学させている。参加することは条件としていないが、奨励し且つ、未成年者においては保護者の参加を勧めている。学生募集においては誇大広告にならないよう十分に配慮し、また、入学志願者には昨年度までの実績を数字や表にして正確に伝え、見解の相違がないように最善を尽くしている。	新入予定生の多くがオープンキャンパスでの印象が強いというアンケート結果があり、全職員が携わるため、新入生への伝達事項について若い職員への指導をしている。学生数減少に伴い、募集広報の紙媒体のものからインターネットのWEB媒体スタイルへ変化させている。	
	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられている	5			
入学試験	入学生の選抜は厳正なものである。	5	入学試験は厳正に行っている。面接試験においては校長自らが面接に立ち会い学生の適性を見ている。面接、内申書等を加味し職員会議にて合否決定している。		
学費納入	学納金は妥当なものとなっている。	4	学納金は明確に募集要項に記載されており高額の追加費用は発生しない。また、学費納入金の納付期限も同様に記載されているので入学希望者が事前に把握できるようにしている。(教材費については、明細書も添付しており適切に徴収している。) 寄付金の徴収は行っていない。	原則として、学費は事前一括納入であるが、経済的な事情により分割納入を認めている。増加傾向にある。	

## 8 財務

評価項目		評価	現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策	特記事項
財務関係	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5	人口減少を見据えた財務体質の構築を検討している。入学者の確保が不安定であり、予算に基づく適切な収支バランスを自助努力により保っている。社会人入学者の奨学金制度の充実の検討を含む中長期的な計画作成と取組を行っている。		
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5	新年度が始まる前に、予算、収支計画を作成し、理事会、評議員会を通じて承認を得ている。財務については適切に処理され、書類等も完備されている。会計基準により公認会計士事務所の指導により実施している。事業計画にのっとり、予算案を作成して執行に際しても管理を徹底している。		
	財務について会計監査が適正に行われているか	5			
	財務情報公開の体制整備はできているか	4			



## 9 法令等の遵守

	評価項目	評価	現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策	特記事項
法令等の遵守	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。	5	法令を遵守し運営にあっている。		
自己評価	自己評価の実施と問題点の改善を行っている。	5	自己評価においては検討し評価している		

## 10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価	現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策	特記事項
社会貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。	4	各関係機関等のイベントには、率先して参加し、学生と地域社会が交流するよう心掛けている。	機会があれば積極的に参加し、学生も動員しての交流活動を行うように努力している。	
地域貢献	学生のボランティア活動を奨励、支援している。	4	近隣地域の清掃活動を実施	市内の清掃活動等への参加	

## 11 国際交流

	評価項目	評価	現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策	特記事項
海外研修	海外での研修、提携校があるか。また、評価される取り組みを行っているか。	4	海外留学の提携校はない。実際の留学生の在籍や卒業生の海外進学は少ない。海外研修にてヨーロッパへ渡航する際には、研修を実施している。	今年度は実施できず	